

骨粗鬆症患者の自己注射

導入率向上へ指導説明統一

田科 清外
札幌市 札幌形

清田区の札幌清田整形外科に際し、全ての医師・看護師が統一して指導・説明できるよう独自の「自己注射導入率向上」のフローチャートを作成。より多くの患者に自己注射を勧める。

「これが鉄則。薬に頼らない医療を心掛けて、自然治癒力を高め、本来の免疫力を引き出す」。

抗認知症薬の服用で、易怒性や不穏の症状が出た患者に、抗精神病薬を併用することで、

新しい医療実践

「二人でも多くに本来の寿命を全うさせてあげたい」。信頼関係を大切に、できる限り

「患者が求める医療は何か」を常に考えている。

「睡眠不足になるケースを多く見てきた。不要な薬を中止・減量し、食事とサプリメントに区南郷通7丁目北5

り多くの枠組みのリエゾンパスにより、患者の不安を取り除くことで、大部分に導入を承諾してもらい、骨折防止維持につなげている。

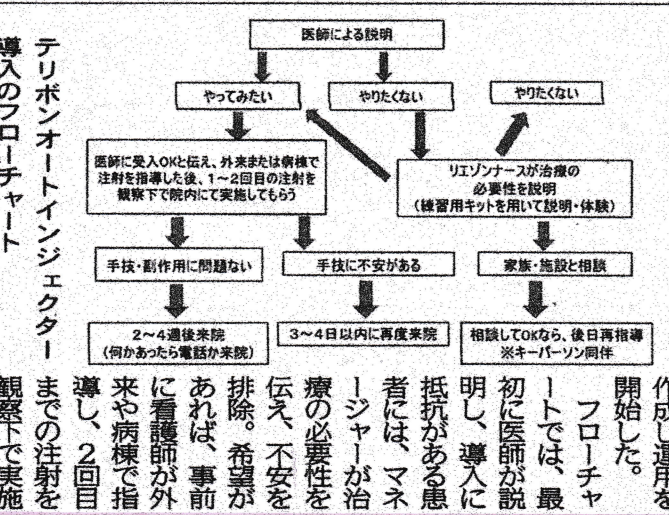
在宅自己注射に用いるリエゾンパスを積極的に実践。骨粗鬆症マネージャーが、各種治療剤の説明や自己注射を指導している。しかし、他のスタッフは知識・経験が浅く、教え方に迷いが生じたり、「自己注射をや

りたくない」という患者への対応に戸惑うこともあり、業務がマネージャーに集中するなど、治療の均一性が課題となっていた。

同病院は、従来から骨粗鬆症治療にチームで取り組むOLS活動を積極的に実践。骨粗鬆症マネージャーが、各種治療剤の説明や自己注射を指導していた。しかし、他のスタッフは知識・経験が浅く、教え方に迷いが生じたり、「自己注射をや

作成し運用を開始した。フローチャートでは、最初に医師が説明し、導入に抵抗がある患者には、マネージャーが治療の必要性を伝え、不安を排除。希望があれば、事前に午後5時以降に小児科検査が担当している。

検査希望者、産科医や他院からの紹介等にも対応。先天性心疾患は、新生児の100人に1人の



胎児心臓超音波検査外来を開設

感染性病床 20床運用開始

血管内高周波焼灼術を開始

胎児心臓超音波検査外来を開設

感染性病床 20床運用開始

血管内高周波焼灼術を開始

北光記念

胎児心臓超音波検査外来を開設

感染性病床 20床運用開始

血管内高周波焼灼術を開始

北光記念

胎児心臓超音波検査外来を開設

感染性病床 20床運用開始

血管内高周波焼灼術を開始

北光記念

退院の意向が側、医療者側それぞれの意向を確認しないままの判断を繰り返している。関わりを進めて